



ガイドラインが一部変更されました

新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、全国の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が九月三十日で終了されました。

これに伴い、夕鶴の里のガイドラインも十月十五日より一部変更(緩和)されました。

入館者数 50名↓75名

語り部ホール 50名↓75名

映像ホール 10名↓15名

伝統文化研究室(和室)

17名↓25名

報資料館 夕鶴の里  
令和3年11月10日  
第131号  
発行 夕鶴の里  
TEL 47-5800

郷土料理研究室(調理室)

15名↓22名

小会議室 5名↓7名

※飲食は可能になり、そば打ち体験も出来るようになりましたが、(但し、飲酒は不可)人数制限がありますので、お問い合わせ願います。

新型コロナウイルス感染症予防の為、ご来館の際は引き続き、マスクの着用、消毒、検温のご協力をお願い致します。また、来館者カードに住所、氏名、電話番号のご記入をして頂きますので、併せてよろしくお願い致します。



山形大学  
フィールドプロジェクト  
「民話語り部  
体験講座」

今年も、山形大学フィールドプロジェクト「民話語り部体験講座」が十月十六日(土)から十一月二十七(土)までの四日間の日程で始まりました。

今年、山形大学の三年生十二名が受講し、民話語り部体験を主に、「南陽市民話ゆかりの地めぐり」や「そば打ち体験」「機織り体験」等も行います。

最終日(十一月二十七日)は、閉講式が予定されており、受講生十二名が勉強した民話を発表します。



10月16日(1日目)  
民話語り部体験受講の様子



10月30日(2日目)  
“南陽市民話ゆかりの地めぐり”  
「蛙石(びっきいし)」(中川)にて

繭玉で制作した  
バラの花とキーホルダーを  
頂きました！

社会教育課放課後子供教室のコーディネーターの田中吉弘様より、繭玉で制作したバラの花とキーホルダーを頂きました。とても細かいところまできれいに仕上がっています。資料館入口に展示してあります。ご覧ください。



# にぎやか

## 活気

### 再び!

全国の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が九月三十日で終了され、夕鶴の里にも、再び、「にぎやか」「活気」が戻ってきました。

遠方からのお客様も多く、ご家族、小グループ、一人旅など様々です。

また、十月は市内外の小学校、中学校、高校の来館が目立ちました。

方言たつぷりの語りに興味を持って聞いていました。

大正十四年に建築された繭蔵を改造した資料館では、昔の生活を感じられる展示を見学し、「金蔵の家」では、影絵にびつくりしていました。



赤湯小3年生 R 3.10.15 来館



山形市立村木沢小6年生 R 3.10.20 来館

沖郷小3年生 R 3・10・26 来館



いわき市立植田東中学校3年生 R 3.10.27 来館



宮内小2年生 R 3.10.28 来館



白岩 葉矢(赤湯小六年) 「白竜湖の琴の音」

- 羽田 陽輝(漆山小四年) 「福は内」
- 加藤 陽菜(漆山小四年) 「十二支ばなし」

- 山口 悠愛(漆山小四年) 「寝言兄弟」
- 稲田 花凜(漆山小二年) 「タモ(蜘蛛)とハチ(蜂)」

※敬称略

へ参加児童と題目

参加した五人の子ども達は、練習回数を重ねるごとに上達し、本番では全員がまとまって、一体感のある素晴らしい語りを披露してくれました。



### 第九回

#### 南陽こども芸術祭

十一月七日(日)、第九回南陽こども芸術祭が開催され、「夕鶴っ子の会」が出演しました。

今年、一般

観覧者を入れたい関係者のみの開催となりました。

### 青年会議所と

#### 南陽高校生が

「一緒につくろう

プロジェクト」企画

夕鶴の里を紹介

民話を知る

「ロードマップ」作成!

南陽青年会議所と南陽高校生が「一緒につくろうプロジェクト」を企画し、十月三十一日(日)、南陽市中央花公園で NumFes. の中で成果発表がされました。

四つのプロジェクトのうち、「まちの由来を未来へ」は、夕鶴の里が協力して、今回南陽市の民話を知る「ロードマップ」を作成して頂きました。

南陽高校生の一生懸命な思いが伝わる発表、ロードマップです。

